



バザールカフェ
松浦千恵さん

✚ **エイズ対策のキーパーソンたち**
伴走型支援を進める場
京都の御所にほど近い閑静な一角にあるバザールカフェ。エイズ業界関係者にはよく知られたこのカフェに関わる松浦千恵さんにお話をうかがいました。



発行：MASH大阪
〒530-0027 大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F
☎ & 函 06-6361-9300
http://www.mash-osaka.com/

この資料は大阪市のMSM向け
HIV予防啓発広報紙作成事業で制作されました。

夏号の紙面VIEW

- 2面 時事ネタ WATCH
- 3面 トナリの芝生 chotCAST
- 4面 知られざる偉人伝
- 7面 海外男街通信「ウィーン」

● **店舗情報**
バザール・カフェ (Bazaar Cafe)
電話：075-4111-2676
住所：京都府京都市上京区局丸今出川上ル岡松町258
HP: <http://www.bazaarcfe.org/>

MASH大阪(以下M)：そもそもバザールカフェとは？
松浦：二〇年前、HIV陽性の人たちが安心して過ごせる場としてスタートし、次に仕事がないことが課題となり雇用の提供をする場としてつくられたカフェです。キリスト教会(日本基督教団)の関係者、大学関係者、HIV陽性者や外国人支援を提

供していた人たち、アティーストなどが集まり、知恵とお力ネと労働力を出し合って開かれたと聞いています。
M：当時の使命は今も変わっていないのでしょうか？
松浦：生きつらさを抱えた方が安心して過ごせる場という意味では基本的には変わっていません。ただ、今ではHIV陽性の人やその支援者だけでなく、アルコール依存、薬物依存、その他の精神疾患やひきこもりなどの困難を抱えている方の利用も増えています。ここ二〇年でHIV陽性者の治療と福祉は少なくとも日本国籍を持つ人にとっては大幅に改善されましたが、生きづらさやその他の課題がなくなるわけではないですし、その他の生きづらさや社会的課題もたくさんあると思います。

M：依存を抱えた人たちにあってバザールカフェはどんな役割を果たしているのでしょうか？
松浦：支援者団体と連携して社会復帰するためのスモールステップの場所として機能していると思います。カフェで働く中で人と出会いコミュニケーションをとったり、休むことを頑張ってみたり。ひきこもりの場合、京都府の青少年の社会的ひきこもり支援事業の受け皿になっています。一〇年、二〇年ひきこもっていた人は社会に出てくのが「フイ」。ここでボランティアの仕事をしてもらって、社会に踏み出す第一歩の場を提供していることになり

● SALON DE BAZAAR

「HIV陽性」「ゲイ男性」「薬物依存」という、すべての属性にあてはまる人だけが集まり、仲間や自分の話を共有する事で少しでもラクな生き方を見つけ出せればと言う願いを込め、2015年より「SALON DE BAZAAR」という場所を提供しています。(開催日時に関してはお問い合わせ下さい。)

MASH大阪からのコメント

京都御所からほど近い閑静な街路にあるバザールカフェ。大きな中庭があり、営業中にはガーデン風テラス席として開放されています。夏ミカンの木が生えていて、取材でお邪魔した当日もたわわに実っていました。お土産に頂いた夏ミカン、香りも味もパツグンに美味しかったです。

水曜は韓国、木曜と土曜はタイ、金曜はフィリピンの方がそれぞれ料理を作って出します。夜間は通常営業はありませんが、勉強会やパーティーの予約が入れば開けます。そのほか、アルコールや薬物依存症の支援プログラムとか、しゅばカフェと呼ばれる、出所者を支援している支援者のネットワーク作りのプログラムなどもやっています。生きづらさとは、そんなに簡単に解決出来るものではなく、しかもその個人の問題ではなく社会の側の問題であることも多分にある。生きづらさを解決してあげることはできないけれど、その生きづらさに付き合うことなら出来るかもしれないと思い、伴走を目的とする伴走型支援という言葉を使っています。その方の人生に付き合うということだと思います。M：興味深いお話、どうもありがとうございます。

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です

大阪府版(2018年5月25日現在)

[大阪市]

北区保健福祉センター 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	月・金曜日／9時30分～11時 水曜日／14時～15時30分 第5金曜日／18時～20時
中央区保健福祉センター 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	火・水・木 ●／9時30分～11時 第1金曜日★(HIVのみ)／14時～15時
淀川区保健福祉センター 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日／14時～15時30分 火曜日／9時30分～11時
chotCAST 大阪検査相談・啓発・支援センター 大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階 火・木・土曜日／☎06-4708-5035 日曜日／☎06-4708-5339 ※いずれも検査実施時間帯のみ。	火・木曜日／18時～20時(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★／14時～15時30分(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 ※土曜日は13時30分に整理券を配布。 日曜日の外事前予約制→ (スマホ)http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/ (フューチャートン) http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/m

[堺市]

堺保健センター 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健医療センター内) ☎072-238-0123	第2木曜日／9時～11時
中保健センター 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3月曜日／9時～11時
東保健センター 堺市東区日置荘原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日／9時～11時
西保健センター 堺市西区鳳南町4-444-1(鳳保健文化センター内) ☎072-271-2012	第1火曜日／9時～11時
南保健センター 堺市南区桃山台1-1-1(南区役所内) ☎072-293-1222	第3水曜日／9時～11時
北保健センター 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日／9時～11時
ちぬが丘保健センター 堺市堺区協和町3-128-4 ☎072-241-6484	第1水曜日／13時30分～15時30分
美原保健センター 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第4木曜日／13時30分～15時30分

堺市保健所(夜間検査) 堺市堺区田出井町2-1サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933	奇数月・第3水曜日／18時30分～20時(先着20名) HIV・梅毒
堺市保健所(平日即日検査)★ 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健医療センター内) ☎072-222-9933	偶数月・第4木曜日/10時～11時(先着20名)
さかいサンサンサイト★ 堺市堺区田出井町2-1サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933	第1土曜日／10時30分～12時(先着20名)

[東大阪市]

東保健センター 東大阪市南四条町1-1 ☎072-982-2603	第1・3金曜日／9時30分～11時
中保健センター 東大阪市岩田町4-3-22-300 ☎072-965-6411	第2・4水曜日／9時30分～11時
西保健センター 東大阪市高井田元町2-8-27 ☎06-6788-0085	第2・4月曜日／9時30分～11時

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください！

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

HIV検査や性感染症などに不安がある方

コミュニティ センター ディスタ
community center dista

性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方はご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人もいて安心です。

MAP

住所：大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F
☎06-6361-9300
木曜～日曜/17:00～22:00 月曜～水曜 休み
<http://www.dista.osaka/>

HIV陽性とわかって間もない方

ひよっこクラブ

HIV陽性とわかって間もない人のためのグループミーティング

<http://www.hiyokkoclub.com/>

HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性

HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性がふっと立ち寄れる場所。谷町6丁目駅から徒歩3分のところにあるお店で、毎月第二日曜日14時～18時に開催しています。
注：月曜日が祝日の場合には第三日曜日

詳細はこちら <http://www.60.atwiki.jp/anopportunity/>

エイズに関する様々な相談をしたい方

エイズ予防財団

エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。

☎0120-177-812 (無料)

※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料)
月曜～金曜/10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)

[南界堂通信第23号 編集後記]

- 日劇ローズの取材にお邪魔しました。ノンケさんとはいえ、ゲイに理解ある方々によって日劇ローズが運営されている事を初めて知りました。若いけれど寡黙で落ち着いた雰囲気の社長さんとゲイに大モテそうな総務部長さんとの絶妙なコンビネーションが面白く、今後一緒にイベントなどを繰り広げていけると楽しそうだなと感じました。(伴仲)
- うどんはおつめで少し煮て表面が少しふっくらしたのがおいしいと感じるようになった。鯖節が入っただして熱々が好き。なので、うどんを食べるのは主に自宅です。(泰平)
- 2面の「時事ネタ」を担当していますが、この2年で変わったこと/変わっていないこと、いろいろ考えさせられます。次号は大阪市でも話題になっている同性パートナーシップ制度を取り上げる予定ですが、その他のネタも鋭意募集中ですので、編集部まで～(大畑)
- 先日、肝機能が落ちていたというので、初めてMRIなるもので検査したところ「脂肪肝炎」との診断。「食事で摂るカロリーを減らし、お酒を控えよう」との主治医のアドバイスに応えようと、「なるべく一日二食、週の半分は休肝日」の二大目標を立てました。大風呂敷にならないよう励みます(-;-)。(哲)

移転後の検査場が入る「21心斎橋ビル」は、堺筋線長堀橋駅から徒歩1分、御堂筋線心斎橋駅からも徒歩4分という立地の良さ。飲食店が多く軒を連ねるエリアにあります。

chotCASTは「ミニコミュニティセンター事業」と「検査相談事業」を2つのNPO法人が運営しています。エレベーターを4階で降り、入口を入ってすぐが、オープンスペースになっており、性感感染症やLGBTに関する出

ミナミは高島屋の斜め向かいで2008年からHIV検査や相談事業を展開していた「chotCASTなんば」が、開設10年目を機に移転、名称も「chotCAST」に変更されたという事で、移転直後の慌ただしい時期に関わらず早速お邪魔してきました!

chotCAST

(大阪検査相談・啓発・支援センター)

大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階
☎06-4256-8681
https://www.chotcast.com

「スマートらいふクリニック」
火曜日/18:00～20:00 (通常検査)
木曜日/18:00～20:00 (通常検査)
土曜日/14:00～15:30 (即日検査・13:30整理券配布)
「サンサンサイトJHCクリニック」
日曜日/14:00～15:30 (即日検査・完全予約制)

【検査日時】



出版物の閲覧や情報を得ることができ、奥のウンターには多種多様なコンドームがずらりと並んでいて、無料で貰える物も置いてありました。

移転直後は受検者数が落ちつたむかしもしいないと一抹の不安を抱いていたものの、これまでと変わることなく幅広い年代の方々が検査を受けにやって来たそう。受検者の割合は男性の方が多く、年齢層は男女ともに20、40代が多く見受けられるとのこと。近年若い女性に梅毒が増加している事から、早期検査の呼びかけにも注力している。検査はもちろん無料匿名で、初めての方には丁寧な説明はもちろん、「優しく丁寧に相談にのっていただける」と受検者からの評判も良い。

今から15年ほど前は、「偏見の中で検査を受ける」という空気の重さやしんどさがあったそう。【最近では早期発見、早期治

療に繋がればAIDS発症は防げますし、慢性疾患と同じ暮らしができる感染症となっている事から、定期的に検査を受けてきている方も多くいます。またパートナーの感染が分かったので受検したいと来所される方もいます。何はともあれ感染不安があるのであれば、なるべく早く検査を受ける事が大切です!

検査前相談や結果後の説明で使用される個室が6部屋も完備されており、HIVを始めとした性感症の検査相談・啓発・支援センターとしても親しみやすい雰囲気。

chotCAST。検査を受けるだけではなく、併設されているオープンスペースで情報収集をしてみたり、性に関する悩み事があれば相談に乗ってもらうなど、chotCASTの使い方はあなた次第で変わってきます。より身近になったchotCASTをどんどん活用してみたいかがでしょうか?ちなみに、chotCASTという名称は、花井十伍さん(薬害エイズ大阪原告団代表・本誌15号と19号に登場)が命名され、communication hub of testing、counseling and supportの略になっているそうです。

ゴールデンウィークも終わり、いよいよ夏が近づいてきました。夏といえは海水浴やプール。食事ではアイスクリームや素麺などがおいしい季節、楽しみな事も多いですね。そんな夏に注意してもらいたいのが食中毒です。食中毒は多く発生する時期が2回あり、ノロウイルスが猛威を振るう冬、そして食中毒菌の増殖が活発になる梅雨から夏にかけて注意が必要です。通常、食中毒菌は高温多湿を好むため、梅雨から夏の時期には食中毒菌の増殖が活発となり食品の「足」が最も早くなります。ではどのようにに予防対策をとればよいのでしょうか。

食中毒予防には重要な3原則があります。食中毒菌をつけない、増やさない、やっつけるです。食中毒菌をつけないためには食品を触る前に手洗いをし、生肉を切った調理器具を他の調理器具や生食用の食品につけないことで予防しましょう。食中毒

梅雨には食中毒に注意!

「食中毒男源」

「食中毒男源」

菌を増やさないためには、調理後すぐに冷蔵庫で冷やしましょう。ただし、調理後に湯気が出てくる場合には冷凍した際に霜ができやすいので、あらかじめ湯気が出ない程度に冷ましてから冷凍庫に入れます。そして食中毒菌をやっつけるには加熱調理をする、または調理器具をアルコール消毒や熱湯消毒して菌を殺菌し、漬物などが長持ちするのはなぜでしょう。その答えは、通常、食中毒菌が増えるためには一定量の水分を必要とする菌が多いのですが、漬物に塩を入れることで漬物の水分を塩分が利用するために菌は増殖するための水分(自由水)を確保できず増殖しにくくなるのです。砂糖にも同様の効果があり、ジャムが長持ちするのもそのためです。

以上のことより、水分が食中毒菌の増殖に影響を与えることがわかります。大阪市水道局によると、水道水は冷蔵庫であっても3日間しか保存できない事になっていることから、調理後の食品は冷蔵庫での保存は3日以内にしたほうが良いでしょう。冷凍庫での保存も冷蔵庫に入れるまでの過程によって保存できる

文 ● 法門坂薬局 迫田直樹(管理薬剤師) 木村優奈(管理栄養士)

国立大阪医療センターの西門前に並ぶ院外薬局の中では、一番古い歴史を持つ法門坂薬局。ジェネリック医薬品を含め、取り扱っている薬品数も一番を誇り、選択肢もたくさんあるので、来局者に寄り添いながら薬選びの相談に乗ってくれます。

〒540-0012
大阪市中央区谷町4丁目3-2
TEL:06-6943-7066



期間は左右されるのでいつまで保存できるかについては一概にはいえないのが実情です。

食中毒は一度かかってしまうと、薬では治療できません。下痢や嘔吐により食中毒菌を体外に出すことが一番の治療となるため、つらい症状は数日間続いています。つらい食中毒にならないよう、この季節では食材を扱う際は注意して楽しく夏を過ごしましょう。



31年目のエイズ学会 ゲイが学会長

「31年目のエイズ学会」

「31年目のエイズ学会」

第22号(2018/2/23)

刑法改正! 男もレイプの被害者として保護される事に

「刑法改正!」

「刑法改正!」

第21号(2017/11/24)

あなたも人権講師になれる? LGBTフームの功罪

「あなたも人権講師になれる?」

「あなたも人権講師になれる?」

第20号(2017/8/25)

シガタ2番 HIV陽性者の運動は何を獲得したのか?

「シガタ2番」

「シガタ2番」

第19号(2017/5/26)

バックナンバー一覧

第14号(2016/2/26) 「同性パートナー証明と任意後見・介護保険」

第15号(2016/5/27) 「同性婚をめぐる論争!？」

第16号(2016/9/2) 「法律の本が続々と出版!」

第17号(2016/11/25) 「アウティングは飛び道具!？/釜ヶ崎とLGBT?」

第18号(2017/2/24) 「ダイバーシティの光と影!？」

第19号(2017/5/26) シンポジウム報告「HIV陽性者の運動は何を獲得したのか?」

第20号(2017/8/25) 「あなたも人権講師になれる? LGBTフームの功罪」

第21号(2017/11/24) 「刑法改正!～男もレイプの被害者として保護される事に」

第22号(2018/2/23) 「31年目のエイズ学会 ゲイが学会長」

ダイバーシティの光と影!?

「ダイバーシティ」

「ダイバーシティ」

第18号(2017/2/24)

アウティングは飛び道具!?

「アウティング」

「アウティング」

第17号(2016/11/25)

同性婚をめぐる論戦!?

「同性婚」

「同性婚」

第15号(2016/5/27)

法律の本が続々と出版!

「法律の本」

「法律の本」

第16号(2016/9/2)

総集編

本シリーズが始まってからちょうど2年、全9回を数えました。

この2年は、2015年の渋谷区の同性パートナー制度を一つの契機に盛り上がったいわゆる「LGBTブーム」が、続きながらも、少し一段落してきた期間だったようにも感じます。

シリーズでは、「同性婚・同性パートナーシップ」、「刑法改正で男性も性犯罪の保護対象に」、「LGBT高額セミナー商法」、「31年目のエイズ学会・・・と、様々な時事ネタを拾ってきました。

2年後の2020年は東京オリンピック・パラリンピックで、LGBT絡みでもいろんな動きがあるとも言われていますが、果たしてこれからどういった事件や出来事が起こるのでしょうか。引き続き、様々な時事ネタを取り上げていきたいと思っています(このテーマを取材してほしい)というご要望がありましたら、ぜひ編集部までご連絡下さい!)

時事ネタ WATCH

中高年MSMと暮らし

鷗外と漱石―性愛表現の分水嶺その3

ホモフォビアを生み出す男同士の絆―



夏目漱石
(小説家、評論家、
英文学者/1867～1916)

文 ● 鬼塚哲郎

あと数年で定年を迎える大学教員。スペイン語圏の文学、芸能を偏愛。強烈なホモフォビアに彩られているとはいえ、ディケンズはイギリス社会にゲイが存在することを隠しはしなかったけれど、スペイン語圏の小説家で最初に同性愛を描いたのは誰だろうと考えると、20世紀後半のアルゼンチンのマヌエル・プイグ(『蜘蛛女のキス』)なのかなぁ……そう考えてみると、ホモフォビアのかけらも感じられない文学がたくさんあった江戸時代(『東海道中膝栗毛』『雨月物語』……)はとってもステキな時代だった？！

前号の記事を読まれた方から次のような話をうかがった――「高校生のとき『ころ』の読書感想文を書く機会があって、「私」と「先生」のあいだには同性愛的な感情のやりとりが描かれている、という趣旨の文章を書いたところ、**国語の先生たちから呼び出しを受け、こつぽどく叱られたんです。「オマエは文豪の作品を冒瀆しているって」。**このエピソードは、**国語の教師たちがホモフォビア(同性愛**

的なのを嫌悪したり忌避したりする感情)を深く内面化しているにもかかわらずそのことに気付かず、必死になって教えずにホモフォビアを植え付けようとしたことを物語っている。この、現代の日本社会でひろくみられるホモフォビアという病理はいつどこで生まれたのか。前号でみたように、森鷗外の著作にはホモフォビアらしきものはみられない。とすれば、漱石こそがイギリスからホモフォビアを日本の近代文学に持ち込んだ張本人なのか？

ホモフォビアを論じた研究で真っ先に挙げられるのが、米国の学者イヴ・セジウィックが一九八五年に著した『男同士の絆―イギリス文学とホモソーシャルな欲望』である。セジウィックはこの著作のなかで、**一般的に男は男同士、女を交換しつ男同士の絆を強めようと**する欲望を持っている**。男同士の絆を強めることは権力を維持したり新たに獲得することにつながる。この、同性**



「男は男同士、女を交換しつ男同士の絆を強めようとする欲望を持っている」とは、たとえば、ある男が友人を自分の妹に紹介し、二人の仲を取り持つとしたら、それは妹を介してその友人との絆をより強いものにしたという欲望を持つからである。男との絆は社会の中で彼が持ちうる権力を維持したり高めたりするのに有効だということとを彼は無意識のうちに知っているのである。このように、社会はホモソーシャルな欲望とい

う枠組みの中で動いているのであり、男女の恋愛や結婚もその枠組みを強化するもののひとつである。この考え方を『こころ』に当てはめてみると、「先生」はホモソーシャルな欲望に動かされてKを家に招き入れるが、Kが「お嬢さん」への愛を「先生」に告白すると、Kから「お嬢さん」を奪い取る。当時のKはすでに社会的に挫折した存在であり、ホモソーシャルな欲望を充足させるようなものを何一つ持っていないと「先生」は判断したのかもしれない。しかし「先生」とのホモソーシャルな絆が唯一の希望であったKは、「先生」に裏切られたことに絶望し、自死を遂げる。Kの死の責任は自分にあると知っている「先生」もまた、自死

を選ぶ……

このように「先生」とKの関係はホモソーシャルな欲望という切り口で説明することができるのだけれど、「先生」と「私」の関係はそうはいかない。セジウィックは前述の著作の中で、十九世紀のイギリスの小説家ディケンズの幾つかの作品の中で、ホモソーシャルな枠組みの中にホモセクシュアルな欲望があらさまでなく微妙なタッチで描きこまれているさまを鮮やかに分析しているが、ディケンズの描くホモセクシュアルな欲望(らしきもの)が病理や犯罪と結びつけられているのに対し、漱石の『こころ』にはそうしたホモフォビアは出てこない。漱石が導入したホモフォビアとは、

「先生」と「私」とのあいだのホモセクシュアルな「ころ」の交流を、「先生」の自死によって断ち切ることで「語られないもの」にしてしまったところにあるのではないだろうか。以後、純文学の世界にホモセクシュアルな性愛は登場しにくいものとなったし、冒頭で触れた国語の先生方もその流れのなかで

お育ちになったのじゃないか。……

男色エンタメ紀行

トランス女性を描いた南米チリ発の映画。

アカデミー賞外国語映画賞を受賞した『ナチュラルウーマン』。この映画を観た四人の方々に印象を鼎談風に語っていただきました。



ことなく描ききったところが素晴らしいと思った。

Ｌ子：私は、逆境に對してすごく怒ってる彼女の姿が印象的だったな。私もトランスしてることを

らかれた経験たくさんあるから、この映画を観ていると思う出しちゃって言葉にできない怒りがぐわーって込み上げてきたよ。

Ａ子：主役を演じたのがほんもののトランス女性の女優兼歌手だったのが大きかったかもね。

Ｌ子：演技だけじゃなく歌のシーンも素晴らしいかったね。歌ってる時のマリナはすごく魅力的だったし神秘的だったりで、この映画で一番好きなシーンかもしれない。

Ａ子：同じトランス女性として、身につまされた。恋人の家族からの攻撃にあそこまで強く立ち向かうことは自分にはできな

司会：まずは感想を一言ずつ……
Ａ子：とても綺麗な映画に仕上がっていると思った。
Ｂ子：同感。逆風、逆境に立ち向かう主人公マリナの強さが印象に残った。急死した恋人の家族から徹底して排除されるという逆境はゲイにも通じる話だと思いがた観た。
Ｏ介：ゲイと同じなのかなあ……それはさておき、逆境に立ち向かう主人公をヒロイズムに陥る



ったのではないか、と思うと身につまされるものがあった。
Ｌ子：うんうん、「彼女なりにいろいろ悩んで妥協点を見つけたんやろうな」って思った。
Ｂ子：あの、文字通り逆風の中を歩いていく姿とか、恋人の遺体を入れた棺桶が火葬場で焼かれるシーンとか、リアリズムなのか幻想なのかよくわからない、そこがこの映画に奥行きを与えているよね。
Ａ子：私がもう一点、この映画で素晴らしいと思ったのは、描かれているヒロインが、性同一性障害の人ではなく、トランス女性だということ。そこにブレがない。だから冷静に見ることができたし、冷静に見れた自分をふりかえって、「(この映画館に自分がいてよかった)と思わせってくれる映画だった。昔は気負っていたけど、今は変わったし、その変化を、映画を観ることで感じたのだと思う」。

司会：四人四様のご意見、ありがとうございます。
①養子縁組
相続の場面では、番強い権利がある子は相続順位1、親は相続順位2。法律的には親子の関係であってパートナーではない。



⑥その他
これをやれば大丈夫という答えはない。

また、死亡届については自治体の運用で親族がいる場合はその他の者の届け出を受けない場合が多いということで、その時がくる前にパートナーの親族との良好な関係をつくることが大切と感じました。来場者から、長年ともに暮らしてきたパートナーと任意後見契約を進める直前にパートナーが急逝。長年暮らした家から直ぐに引越しなければならなかったが、親族と面識がありお骨を分けて頂いたというお話を伺いました。今のところ私たちがベターな方法を考えていかなければならない中、茶会が情報発信や専門家との関係づくりの場となるよう思いを強くしました。

②任意後見契約
「財産管理や「身上監護を担う役割。互いに結び合うことでいざという時に備えるが、どちらかが死亡すると契約が終了するので相続の場面では役に立たない。相続に関しては「死後事務委任契約」を結べばある程度は役に立つ」。

③遺言
自分の「財産」と「お墓やお供養」のことを誰に頼むかを書き記す。親が存命なら遺留分を請求される場合もある。また「お墓やお供養は親族の意向を無視し難い。遺言には「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」の二通りがある。自筆証書遺言は法律的に有効な書き方、保管場所が困ることがあり専門家(司法書士、弁護士に相談するのがよい。公正証書遺言もスムーズに作成するには専門家に相談するのがよい。

④パートナーシップ証明

✈ 海外男街通信

Vienna

distaに時々顔を見せるリヒアルトさんにウィーンのお話を語っていただきました。

ウィーンのLGBT事情



オーストリア出身のリヒアルトと申します。出身はオーストリアの田舎なのですが、十八歳のときウィーンに行き、大学で化学と日本学を専攻しました。日本の大学で化学の研究を続けたいと思い、留学。大学院を修了して、今は大阪の会社で働いています。自分がゲイだと気付いたのは十三か十四歳のころでしたが、誰にも言わなかったです。

一が男で、男のざつと半分がゲイだったんです。なぜ日本学にゲイの人たちがそんなにたくさん集まってくるのか、私にもわからないのですが、ともかく仲間が急に増えた感じがして、とてもうれしかったです。

オーストリアという国は、人口が八百万。国全体としてはどちらかというと保守的な土地柄で、かつてのハプスブルク王朝の時代、オーストリア・ハンガリー帝国の時代を懐かしがる人もたくさんいます。でもLGBTの人たちの権利獲得運動もそれなりの歴史があり、LGBTのパートナーシップは八〇年代から認められてい

ます。特にウィーンの市当局はLGBTの人たちの人権に敏感で、中心街にLGBTのためのコミュニティセンター(Rosa Linvaieria)といいます。「薔薇とリラの館」ですねを設置したりして、最近のウィーンはLGBTの人たちが暮らしやすい街になりつつあります。

最後に、リヒアルトがオススメするウィーンの観光スポットを紹介しますね。オーストリアはアルプスの国だけあってスキーやスケートがとても盛ん。ウィーンの市庁舎の前には冬のあいだスケートリンクができるのですが、そこでスケートをしたあと、市庁舎の向いにある「カフェ・ラントマン」(CAFE LANDTMANN)というカフェでジュニツェルやザッハトルテをいただくのがウィーンっ子の冬の定番コースなのです。残念ながら私はスケートは嫌いなのですが(笑)……。それはともかく、ヘカフェ・ラントマンの古き良きウィーン情緒に浸りながらジュニツェル(牛肉のカツレツ)やザッハトルテ(ウィーン名物のチョコレートケーキ)をいただくのは、やっぱりウィーンならではのものです。ウィーンで一番懐かしいスポットかな。

MASH大阪(以下M)：ゲイポルノ映画館をオープンしたのはどのようなキッカケから？

専門の映画館をやってみない？と提案があったんです。それで、丁度うちには映画館を閉めてカラオケサロンやビデオ試写室に転用していたスペースがあったので、そこを改造して新たなビジネスを始めることになったわ

M：それで、ビジネスとして成り立つことを確認された？

M：日劇ローズができて何かトラブルはありましたか？

追加料金を払えば利用できる個室もありますし、ロビーには自由にご利用頂ける喫煙室や談話スペースもあります。

最後に、リヒアルトがオススメするウィーンの観光スポットを紹介しますね。オーストリアはアルプスの国だけあってスキーやスケートがとても盛ん。ウィーンの市庁舎の前には冬のあいだスケートリンクができるのですが、そこでスケートをしたあと、市庁舎の向いにある「カフェ・ラントマン」(CAFE LANDTMANN)というカフェでジュニツェルやザッハトルテをいただくのがウィーンっ子の冬の定番コースなのです。残念ながら私はスケートは嫌いなのですが(笑)……。それはともかく、ヘカフェ・ラントマンの古き良きウィーン情緒に浸りながらジュニツェル(牛肉のカツレツ)やザッハトルテ(ウィーン名物のチョコレートケーキ)をいただくのは、やっぱりウィーンならではのものです。ウィーンで一番懐かしいスポットかな。



M：不安はありませんでしたか？

M：そうですね。お客さんのニーズは常に意識しているという感じですか？

M：なるほど、どちらも人情味豊かで大らかな新世界らしいエピソードですね。興味深いお話、どうもありがとうございます。

最後に、リヒアルトがオススメするウィーンの観光スポットを紹介しますね。オーストリアはアルプスの国だけあってスキーやスケートがとても盛ん。ウィーンの市庁舎の前には冬のあいだスケートリンクができるのですが、そこでスケートをしたあと、市庁舎の向いにある「カフェ・ラントマン」(CAFE LANDTMANN)というカフェでジュニツェルやザッハトルテをいただくのがウィーンっ子の冬の定番コースなのです。残念ながら私はスケートは嫌いなのですが(笑)……。それはともかく、ヘカフェ・ラントマンの古き良きウィーン情緒に浸りながらジュニツェル(牛肉のカツレツ)やザッハトルテ(ウィーン名物のチョコレートケーキ)をいただくのは、やっぱりウィーンならではのものです。ウィーンで一番懐かしいスポットかな。

堂山町の入口にあった、全国でも珍しいゲイポルノ映画館の東梅田ローズ劇場が閉館したのが二〇二年。しかしその翌年には、東梅田ローズ劇場の志を受け継ぎ、名前も一部受け継いで新世界の通天閣すぐ近くに日劇ローズがオープンしました。同じ建物内に、近畿でも数少ないフィルム上映館の新世界東映、ピンク映画館の日劇シネマ、そしてゲイポルノ映画館の日劇ローズという三つの映画館が入っています。これらの映画館を経営する松下商会のお二人、社長の大林さんと総務部長の立木さんにお話をうかがいました。

男 朋友

新世界日劇ローズ劇場に突撃取材！

今はなき東梅田ローズ劇場が新世界で蘇る！



な身なりの人が入ってくるのを嫌がる方が多い。ただし、私たちは女装さんを拒否しているというわけではなく、「日劇シネマの方をどうぞご利用ください」と申し上げていて、むしろ歓迎しているんです。実はこの部屋(インタビュをさせていただいた日劇シネマの談話室)も女装さんたちからの要望でしつらえたものですし、当館のもぎり(チケットの半券をもぎるスタッフ)の中にも女装さんがいて、一緒に働いてくれています。

